

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314

かさおか



初代の心にかえり信仰の喜びを
深めよう 伝えよう 広げよう
一、持ち場立場で日々理作り
一、家族揃って教会参拝
一、一日一件にをいがけ

立教173年
3月号

創立120周年

活動目標の実行を!

笏板の使い方・敬礼作法も学ぶ

教会長講習会

大教会では2月26・27日の両日、詰所で立教173年教会長講習会を開催、101人が参加した。

創立120周年記念祭に向けて活動2年目の旬に全教会長が一堂に会し、スローガンに掲げた活動目標の真意を深め、更に元気の出る教会目指して前進しようとお開かれたもの。

開講に先立ち、大教会長様は「記念祭実践項目の実行に向け、特に本年は『育て』の上に心を一つにつとめるところに不思議なご守護を頂く句であり、それがにいがけ、おたすけに続いていく。講習会のための講習会でなく、学んだ事をこれらの教会活動の上に実践して頂きたい」とあいさつ。

引き続き、中臺勤治報徳分教会長(日本橋大教会部属)の教会活動を紹介したビデオが放映された。その後、同会長から「元気の出る教会」と題して、街頭でのにいがけから教会に住み込んだ多くの人たちとの日々の教会生活を通して、教会のあり方、にいがけがけまた教会長としての使命など、自身の布教体験を通しての講話があった。そして、参加者を15班に分けて各班の進行係を



講話を真剣に聞く参加者

中心に、中臺先生の講話を受けて「元気の出る教会目指して」をテーマに班別ねらいあいを持った。2日目は本部神殿廻廊ひのきしん、朝づとめから始まり、次いで大教会長様を講師に「笏板の使い方」について学んだ。

まず笏板の扱い方から始まり○小揖○揖○小拝○拝の基本敬礼作法。朝夕のおつとめ時の歩法など参加者も実際に笏を持って行い、その都度、大教会長様からこと細かく説明を受けた。「敬礼



笏板を使って敬礼作法を行う参加者

作法を始め動作を正確にする事は神様に対する礼儀であり、心を尽くす事である。特に練習するのではなく、毎日の朝夕のおつとめの時に意識して行う事が大切」と、大教会長様は日々の動作の中の勉強を強調された。

引き続き「記念祭実践2年目について」をテーマに、前日同様、活発な班別ねらいあいが持たれ、最後に、各班のねらいあい発表が行われ、元気の出る教会、実践項目の実行を誓い合って終講した。

高屋分でも教会長講習会開催

高屋分教会(武内正美会長)は2月21・22日の両日、同教会で立教173年教会長講習会を開催、23人が参加した。

同教会につながる教会長が一手一つに歩むため毎年開かれているもので、今回は大教会創立120周年記念祭活動2年目の実践、また、元の理について行われた。

武内同教会長が「教会長の立場、育成、心定め、元の理」の4点に

ついて講習会を通して学び、実行して頂きたい」とあいさつ。

引き続き、3人の教会長が「教会長としての日々の通り方」について感話。その後、懇親会があり信仰談議が活発に行われた。

2日目は、同教会長の開講のあいさつを受けて創立120周年に向けての活動目標などをねらいあい、続いて、板倉元押立分教会長(甲賀大教会部属・三日講習会講師)の「元の理」教会長として大切にしていること」と題しての講話があった。

大教会 墓地植樹ひのきしん



大教会管理部(岡崎和夫部長)は、2月22日・23日に墓地周辺の植樹(生垣)ひのきしんを延べ20人の参加者で行った。

り、勇む姿に晴天のご守護を頂き、少しの作業を残し、喜びの汗を流した。

翌23日には、生垣を仕上げ、更にお墓地参道に竹垣を施す作業を行い、周辺に新しい真砂土を入れ、ひのきしんを終了した。

植樹に適した時季と、

暖かくなる6月頃には、真赤に芽吹く洋カナメ(レッドロビン)の木々や後楽園を思わせる竹垣の出来栄に参拝者の目を楽しませる事だろう。



霊祭月を前に霊様方にお喜び頂ければという思いで、各ブロックから大勢参加して頂き、材料調達から、竹垣・植樹に至る迄の段取りを初め、当日22日には、支柱を立てる人、竹と支柱をシュロ縄で結ぶ人、植込みをする人、監督に徹する人など、自然と役割分担が決ま



修養科終了生の声



修養科で得たもの

大教会 直轄 仁科 恵美子

修養科へは親の勧めで行かせていただきました。今は亡き祖母が熱心な信仰者でしたので、少しでも喜んでもらえれば…という思いもありました。

生活リズムが変わってしまうため、「最初の1か月は長く感じられるよ」と色々な方から言われていましたが、私にとっては三か月という期間も、それ程長くは感じられませんでした。友人にこのことを話すと、「充実していた証拠だ」と言われました。確かにそうかもしれません。『見るもんねん 聞くもんねん』といわれる通り、色々なことを見聞きし、考えさせていただくことで自分自身と向き合う貴重な期間となりました。

目で見ることでできない心の内面は行いとなって現われることを教えていただきました。お道の教えを「知っている」と「身につけている」とことは異なるように思います。今は「知っている

る”状態でも、「身につけている”状態へと近づけるよう、日々を通していただきたいと思えます。

修養科という貴重な機会をいただき、ありがとうございました。心より感謝しています。

談話室



一期講師の

泣き笑いろヶ月

明石市分教会長 杉原 博之

自室の机に一枚の写真を小さな額に入れて置いている。第824期修養科修了記念写真だ。東左4棟前に5段に椅子を並べ、修養科女子101組の皆が揃っている。託児の子供13名も一緒だ。みんな笑顔だなあ。18才から82才までの37名、子供13名、計50名。12月〜2月末の間には担任の私も修養科生も年末年始、元旦祭、お節会、春の大祭とひのきしんに励んだものだ。教典におてふり、鳴物の授業、教祖御生家、記念建物の史跡見学、布教実修、16名の新しいよふぼくの誕生……。布教実修

にはバス一台に101組全員、託児全員、ベビーカー7台と乗り合わせての実修、それはもう大変だった。

その3ヶ月は濃密で、煩雑で、喜び、悲しみ、悩みが混在したカオスのような日時だった。修了の日まで長いなあと思った日も有りそして駆け抜けたとも思える。精一杯修養科生に向き合ったものだ。加えて何よりおぢばに懸命の伏せ込みが出来た。有り難いことだった。

記念写真の一人一人の笑顔の中に、一杯の思い出、喜びが溢れている。別れの悲しみも含まれているんだろう。みんな頑張ってたほしい。国々所々に帰ってよふぼくとして活躍してほしい。私も修養科生も別れに一杯の涙を流した。喜びもある。それは担任の先生、教祖伝の先生6名とのこれからもご厚誼の続くことだ。先生方とは机を並べ共に喜び、悩みを共有したものだ。これからも同じ道を励まし合って歩んで行きたい。それに何より記念写真は私を一杯励ましてくれるように。



二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には一列子供の陽気ぐらしを楽しみに一人ひとりに心の自由をお与え下さると共に 身体もお貸し下され 陽気ぐらしを味わえるようにと昼夜を分かつたず 天然自然のお働きを下さっております事は 誠に有難く勿体ない極みでございます しかしながら世の多くの人々はその理を知らず 我身勝手に心や身体を使い 人を傷つける事によって我身さえも傷つけている事も知らず 苦しみに喘いでいます事は誠に残念でなりません お道にお引き寄せ頂き 親の思召をお聞かせ頂いた私共は 日々朝夕に御礼申し上げ 心の埃を掃除しつつ 因縁納消と親孝心一筋にたすけ 一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はお許し下された月毎の御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び心も一入に心をつつ揃えて明るく陽気に勇んで坐りつとめてをどりをつとめて二月の月次祭を執り行わせて頂きます

御前には余寒厳しき中も厭いませず 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し 尚も変わらぬ親心にお縋りする状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

又本日は祭典に引き続き 学生層育成者講習会を開催させて頂きました 昨今学生を取り巻く環境は決して良くありません 携帯電話・インターネット・ゲーム機等 確かに便利で簡単に楽しみを得る事が出来ますが それはあくまで個々に偏りすぎていて 人の和が薄れてたすけ合いは失われつつあります そんな中だからこそ 親であり兄であり姉である私達が 育てるべき心の方向を見定めて 育成に努めて行かなければなりません

今日の講習会をその一助とすると共に 本年実践に力を注ぐべき「家族揃って教会参拝」にも繋げていく所存でございます 更には又 来る四月十九日の婦人会創立百周年記念祭の総会には 一人でも多くの会員の婦参をさせて頂くべく 婦人会員の丹誠と声掛けの徹底をはかり 一手一つの実をおちばへと運ばせて頂く所存でございます

何卒親神様には時代の波にのまれず 親心を頼りと一筋にたすけ 一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいます 万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り 信仰の喜びが親から子へ 子から孫へと代々と繋がって 教えの理の拡がりとなり お望み下さる陽気ぐらしの世の状へと 一日も早くお導き下さいますよう一同と共に慎んでお願い申し上げます

こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌三月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「一」、笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されてきましたので転載させて頂きます。おめでとうございませう。

▼養徳社発行『陽気』誌三月号、「道柳」より転載

▼今回の課題は「一」、笠岡に繋がる教友の方が選ばれ掲載されてきましたので転載させて頂きます。おめでとうございませう。

▼表紙の絵

神邊分教会よふばく 小坂道子さん

◆おつとめまなび総会

- とき：4月1日(木)
 - 午前9時 受付
 - 午前9時半 祭儀式
 - おつとめまなび、式典、若木門出式
 - 午後 モギ店とゲーム
- モギ店：焼そば、フランクフルト、うどん、ポップコーン、フライドポテト、スイーツ、カレー、ジュース、お茶。
- ゲーム：スパーボールすくい、射的、輪投げ

※家族揃って教会参拝/どうぞ家族揃って大勢ご参加下さい。

お知らせ



青年会笠岡分会では、この度、公式ブログのアドレスを次のように変更いたしました。行事予定や、開催記事などを写真付で掲載しておりますので、ご覧下さい。携帯電話からでも、ご覧になります。

天理教青年会笠岡分会公式ブログ

「前へ！前へ！」

<http://kasaokabunkai.blog.jp/>

大教会だより

◎教会指令◎

◎任命願

府中市 分教会

*前任 豊田道人

*新任 豊田宏哉

☆奉告祭

立教173年3月14日
立教173年1月26日承認

◎任命願

府世原 分教会

*前任 高信公枝

*新任 高信正人

☆奉告祭 立教173年3月7日
立教173年2月26日承認

◎第八二期修養科

自 立教172年12月1日
至 立教173年2月27日

*教養掛

三ヶ月間 山野弘実
(上下分教会長)

一ヶ月間 渡邊泰造
(品治分教会長)

二ヶ月間 吉岡貞彦
(若田川分教会長)

三ヶ月間 雑賀元生
(照雲分教会長)

*修了者

笠岡 仁科 恵美子
東城 笹尾 恵理
稲倉 坂口 英子

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教173年3月14日終講

大江橋 松本 朋子

後期 立教173年3月19日終講

大江橋 村川 秀利

◎第八二期修養科一期講師

自 立教172年12月1日
至 立教173年2月27日
明石市 杉原 博之

◎本部食堂ひのきしん

自 立教173年2月16日
至 立教173年2月28日
福満 檀上 孝之



大地が動いた！

立教一七三年の春季大祭の神苑に田舎のオバサン5人が、視線は真直ぐに神殿を見据え、顔には笑みが溢れていた。

5時間前に教会を出た、婦人会出雲委員長 高島房子奥様”以下4名だ。

一月十八日島根分教会へ婦人会笠岡支部長・大教会奥様のご参拝で湧き上がる神殿での御話に「心に電撃が走った！」と云う。

天理教婦人会一〇〇周年記念を目前に控えた今だからこそ・・・月例会や常時活動を意欲的に続けている皆が、本部大祭参拝を事前に計画したのではなく、委員長長の「ビィビツ”と来た思いを、何度も声かけしての実現であるのです。

大波小波・・・荒波を「ヨイシヨ！」と越えてきた勇敢な人達・・・いやあく今度も？運転を拜命した私。道中・・・細心の注意とお気に召すような車窓風景を提供しないと怖いものが・・・あるよう

で。古都奈良の穴場へ、果ては私の青春時代の匂いが漂う・・・大和郡山市へ、繁華街を練り歩き、闊歩した頃の話も披露しながら・・・どうせ誰も知らない昔のこと、かっこよく色付け肉付けしての話は感動的だったことは想像がつくでしょう。

さて、時は流れて今月の十二日
又もやご指名が掛かった！ヤバ・・・今度はなんかいや？上級島根分教会へ婦人会の特別？御供えを委員長長について5人が運ぶ？と云うのでワッパを握ることになった。他にヒマな奴がおらんかった・・・という事で、トホホ・・・ほんまに俺は婦人会のなんやねん！前から余程の因縁が出てるのやろか？いやいや、こんな男冥利につきる御用は無いか、いつも大切に？して頂いて・・・「笠岡部内広し」と言えども無いのと違うかなあ。次のお呼びは四月の「誕生祭と婦人会総会団体」です、またいつの日か告白？する日が来るのでお楽しみに・・・